

令和3年度 自己評価結果公表シート

あかし幼稚園

1、評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
1. 保育者の計画性について	<ul style="list-style-type: none">・ 4大イベントは日々内容を全員で確認し、行事当日から逆算して日々を積み重ね、子どもの様子に合わせて進められた。また、その後必ず反省の場をもち、次年度に生かしている。・ 週に1回全職員で全園児の様子を話し合う事で、保育の反省が出来、次週の課題や職員間の援助が考えられた。・ 保育後の職員室にて各クラスの翌日の活動に対する相談・助言が自然に行われていた。
2. 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもの話をよく聞き、ありのままの姿を受け入れるよう努め、それを全職員と共有した。・ 保育者同士の話し合いの場が設けられていて、細目な情報交換により、全職員が全園児の様子を把握していた。・ ケンカやケガも気付いた職員が対応して関り、その後報告していた。
3. 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none">・ 皆責任感を持って仕事に取り組んでいる。・ 職員同士が明るい雰囲気集えており、子どもの様子から保育者自身の悩みまで幅広く共有できている。・ “ハウレンソウ”が良く出来ていて、何か起っても隠す事がない。
4. 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none">・ 出来るだけ子どもの様子を伝えたり家庭での悩みも聞くように心がけている。・ 早い対応を心がけると共に全体で共有するように努めた。・ 守秘義務を徹底し、保護者から言われた事は全職員で共有している。
5. 地域の自然や社会との関り	<ul style="list-style-type: none">・ 近隣の方々との挨拶は欠かさないように心がけている。・ 実習生は可能な限り受け入れ、様々な養成校の先生方との情報交換に努めている。・ 卒園生が気軽に足を運べる環境である。・ 秋の果物配りでは、お世話になっている方々へ家庭から持ち寄った果物持参で感謝の気持ちを伝えられた。・ 保幼小連絡会への出席。・ 兄弟児の預かり受け入れ。
6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・ 園内の遊具の使い方に関しては、職員一同共通理解している。・ 子どもの育ち、要支援の子への関りについては毎日のように話し合った。・ 職員同士が良く理解し合い、助け合っている。・ 長期休暇中の園内研修や、キリスト教保育連盟・外部講師のオンライン研修参加で専門性を高めた。・ 毎月のピアノレッスン参加。
7. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none">・ 来園者には優しく声をかけ、挨拶するように努めた。・ 電話での問い合わせに丁寧に対応している。

2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【2021年度 教育目標】

- ・かけがえのない存在である子ども達の個性と人格をありのままに受け止め、尊重する。
- ・家庭との連携を密にとり、保護者の心にも寄り添いながら、共に子どもを育てていく。
- ・子ども達が生き生きと遊べる環境を保証しながら、深い子ども理解に努める教職員の育成を図る。

【総合的な評価】

- ・新採用の職員をフォローしながら、補助の先生も一丸となって安定した保育を行うことが出来た。長期の保育計画を立て、それを月→週→1日の生活へと細かく考えていくことで、無理なく子ども達を導くことが出来たように感じる。また、子ども理解も深まり、クラスの枠を超えてアドバイスしたり、援助したり・・・が、自然な形で進められた。
- ・保護者対応も細やかに行っているつもりだが、もっと接してほしかったという声もあり、反省している。
- ・見学者に対して、又園庭開放時は、職員みんなが笑顔で温かく迎えるように心がけた。しかし、コロナ禍で地域の中に開かれた園として何かを行う事が難しかった。次年度は未就園児へのホームページでの発信にも力を入れ、親しみやすい園となるよう努力したい。
- ・積極的に職員が外部の研修に参加するように促すと共に、園内研修の一層の充実を図り、各自が専門知識・技術向上に努める。

3、これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
1. 保育者の計画性について	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領の理解を深め、クラスの保育計画に反映させる。 ・遊びの環境、絵本等の内容をよく吟味し、自分のクラスにあったものとなるよう確認していく。
2. 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの充実を心掛ける。(補助職員と共に) ・個と集団の育ちを念頭に、個人を大切にしつつ全体をまとめていく事を日々の保育で特に意識していく。 ・生活面における子どもへの適切な声掛け。 ・補助職員と意識して情報共有に努める。
3. 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から信頼されるようにしっかり話を聞き、寄り添えるように努力する。 ・運営に関わる仕事では、余裕を持ちすぎて遅れないように気を付ける。 ・話し合いの場で積極的に発言していく。
4. 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> ・「苦情がある場合は遠慮なく職員へ」と保護者へ周知する。 ・要望への回答に教育的意義付けをすること。 ・保護者の状況を考え、早めに予定を知らせる。 ・提出物のメ切は、もう少し保護者に協力を求めていく。
5. 地域の自然や社会との関り	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナだが工夫してもう少し園外に出ていく。 ・迎への車の長時間駐停車、反対車線への駐車。
6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し積極的に研修に出かける。 ・うんてい、すべり台、鉄棒の近くに必ず職員がついておく。 ・室内おもちゃの遊び方、適切な量など、再確認する。
7. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・物質面での環境を整える。(乳児向けおもちゃ、遊び場所) ・園の様子や園庭開放について、未就園児向けにホームページで知らせる。

4、学校関係者の評価

- ・気になる子は年々増えていると思う。先生達が必要以上に落ち込まないように、みんなで共有しながら分担すればいい。
- ・あかしがビジネス的ではないというのは本当にそう思う。(そこが良いところ)
- ・初めての子育てで個性的な子どもを育てていると色々な事に敏感になるだろう。でも、あかしに来ることで肩の力が抜けて楽になる保護者も多いと思う。
- ・いろいろな家庭の事情を抱えている子がいるかもしれないが、せめて“あかし幼稚園では大切にされていた”という思いが持てるようにしてあげたら良いのでは。
- ・各学年がまとまっている。今後も子ども達をよく見て行ってほしい。(手のかからない子も含めて)
- ・卒園してもいつまでも繋がっていられるところ、仲良しでいられるところがあかしの良さ。
- ・これまでのあかしの良さをなくさないで、自信をもって引き続きがんばってほしい。

*2021年度学校評価委員(4名 敬称略)

佐々木英治(あかし幼稚園理事)

水田友香(あかし幼稚園評議員)

畑中真生(元あかし幼稚園母の会会長)

中島まり恵(元あかし幼稚園役員)